「学習内容の構造図」

小単元名

くらしを高める　～濁川の水害～

学習指導要領の「内容」との関連

内容（５）地域の人々の生活について，次のことを見学，調査したり年表にまとめたりして調べ，人々の生活の変化や願い，地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

ウ　地域の発展に尽くした先人の具体的事例

明治以降も水害があり、改修工事・治水措置によって現在濁川の水害は治まっている。⑤⑥

・資料集P128~129

・資料集P130~131

笛吹川（今の平等川）

甲府市を流れる濁川の下流は、どろがたまりやすく川底が高いため、水が流れにくくあふれやすい川だった。②

綿花・りょう地・代官・年貢・改修工事

江戸時代のはじめごろ，蓬沢村，西髙橋村は，毎年起こる水害で苦しみ，代官所に改修工事のお願いをした。③

・工事に使った道具（資料集P133⑦または実物）

・石のほこら

（資料集P１３４⑧）

桜井政能

もっこ

ほこら

桜井政能の働きにより、濁川の改修工事が行われ、水害が少なくなった。④

資料集P136⑬⑭

　　　P137⑮⑯

改修工事　石だわら　いかだ　耕地整理　排水ポンプ

単元の中心概念

水害からくらしを守ろうとしてきた濁川下流に住む人々の願いや努力、先人の働きや苦心によって、地域の人々のくらしが向上してきた。⑦

＊資料の欄の「資料集」とは「わたしたちの甲府市」のことです。

・資料集P126~127

・水害

・濁川

水害が何度も起きたことを知り、人々の苦労や願いを考える。①

資料

用語・語句

具体的知識（調べて分かること）